

施策名：地域ICTクラブの普及促進 (デジタル活用共生社会推進事業)

総務省情報流通振興課情報活用支援室
03-5253-5685 ictclub@soumu.go.jp

分野

未来技術の活用に向けた社会ニーズの醸成

総合戦略該当箇所

横2-1-(1)-iv

予算額

令和3年度当初一般会計
107百万円の内数

特徴・ポイント

- ✓ 「地域ICTクラブ」は、地域で子供たちがプログラミング等ICT活用スキルを学ぶ機会を提供するもので、地域住民との交流を行ったり、地域課題をテーマ設定するなどして、地域人材の育成にも資するもの
- ✓ 「地域ICTクラブ」の全国的な展開に向けて、運営ノウハウや実施方法のモデル化を情報提供

目的

- ・ 地域で子供たちがプログラミング等ICT活用スキルを学ぶ機会を提供する「地域ICTクラブ」の普及促進を図る。

概要

- ・ 地域ICTクラブ実施団体からなる全国的なネットワークの構築
- ・ 全国各地で取組成果を発表する機会の提供や全国交流会を実施することによる、切磋琢磨できる機会の提供

地域ICTクラブの趣旨

- 地域ICTクラブは、地域で子供たちがプログラミング等ICT活用スキルを学ぶ機会を提供するもので、地域住民との交流を行ったり、地域課題をテーマ設定するなどして、地域人材の育成にも資するもの
- 子供たちが学校教育で学んだものを地域でさらに深め、興味関心に応じ実践的な学びを行う

(参考)

- ・ 全国的な展開に向けて、運営ノウハウや実施方法のモデル化を情報提供



取組方向性

- 全国的なネットワークの構築
 - ・ 地域ICTクラブ実施団体からなる全国ネットワーク構築
- 切磋琢磨できる機会の提供
 - ・ 全国各地で取組成果を発表する機会の提供や全国交流会を実施



活用事例

・学童連携モデル（埼玉県）

自治体のこども子育ての受け皿である公民館や児童館と連携した活動モデル。プログラミングを通じて「創造的な学びの世界」を体験（新座IoTの学び推進協議会）



会場は児童館



メンターの話聞く子供たち

・多世代交流モデル（神奈川県）

地域の若者から高齢者まで幅広い年代が共に学び合うモデル。“世界最高齢プログラマー”の若宮正子さんをはじめ地域のシニアの方がメンター・サポーターとして活躍（つづきIoT学習推進協議会）



シニアが小学生に教えるクラブ活動



女の子も楽しめる電子工作